

# 令和元年度 中国・四国ブロック 事業報告

## 1. 活動テーマ

みる・つなぐ・動かす ～保健師の原点から住民とともに創る未来～

## 2. 目的

効果的な保健師活動や人材育成の取組等に関する情報交換、研修を行い、支部相互の連携を強化するとともにブロック活動及び支部活動の充実を図る。

## 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
1	8月3日(土) 10:00～12:00	徳島県 アスティとくしま 第4会議室	【ブロック支部長会】 ・全国保健師長会理事会等の報告 ・情報交換(各支部の活動について) ・研修会打合せ
2	8月3日(土) 13:15～16:15	徳島県 アスティとくしま 第2特別会議室	【ブロック研修会】 ・全国保健師長会活動報告 全国保健師長会 会長 山野井尚美 氏 ・平成30年度地域保健総合推進事業研究報告 災害時保健活動特別委員会 委員長 相馬幸恵 氏 ・活動報告 「災害時保健師等の受援調整を経験して ～統括保健師の立場から～」 岡山県美作保健所勝英支所長 西尾 恵 氏 ・意見交換 「いつ起こるか分からない災害に備えて ～各地域の取組の現状と課題」
3	12月21日(土) 13:30～16:00	徳島県 ふれあい健康館 第3会議室	【ブロック支部長会】 ・意見交換 (研修会振り返りと次年度の内容について) ・情報交換 (人材育成、会員確保のための取組、子育て世代包括支援センターの設置状況や取組、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に関する取組状況等)

## 4. 結果・課題

- ・支部長会では、各支部の活動の概要や情報交換のテーマとして要望のあった課題についてまとめた資料を事前送付し、意見交換の時間を確保できるよう努めた。それぞれに関心のあるテーマであり、活発な意見交換となった。今年度は研修会後に第2回理事・支部長会を開催したため、来年度の研修会テーマについても大まかに決めることができた。これにより、会員の要望に沿った研修会の開催につながると考えている。
- ・ブロック研修会は、72名の参加があった。災害時保健活動の受援のあり方をテーマとすることで、地域に責任を持った活動の強化について考える機会とすることを目指した。マニュアル改定についての報告や、経験者にしか語れない具体的な活動報告により、参加者からは、受援体制について考える必要性について再認識できた、各地域でできることから進めていくとの声があり、企画の目標は達成することができたと考えている。

## 5. 支部活動の特徴

9 県 1 市の 10 支部で構成されており、それぞれ保健師が所属する関係団体と連携した研修会の開催や現任教育の推進などに取り組んでいる。また、年 2 回の支部長会において各支部の取組状況等について情報交換を行い、支部活動の充実を図っている。

## 6. 委員・支部長

○理事	野 口 環	徳島県障がい者相談支援センター
理事	植 木 芳 美	鳥取県福祉保健部健康医療局
鳥取県	洞ヶ瀬 以津子	鳥取県湯梨浜町長寿福祉課（地域包括支援センター）
島根県	福 間 紀 子	島根県出雲市健康福祉部健康増進課
岡山県	栗 原 淳 子	岡山県保健福祉部保健福祉課地域福祉班
広島県	澤 岡 千恵子	広島県東部保健所保健課
山口県	小 林 聖 子	山口県宇部健康福祉センター保健環境部
徳島県	前 田 恵 美	徳島県東部保健福祉局<吉野川保健所>健康増進担当
香川県	徳 重 貴 子	香川県高松市長寿福祉部長寿福祉課
愛媛県	竹 内 竜 美	愛媛県中予保健所健康増進課
高知県	濱 田 純	高知県中央西福祉事務所健康障害課
広島市	鐵 口 ゆかり	広島市安佐北区厚生部健康長寿課